

1学年通信

山形県立米沢興譲館高等学校
1 学年
第 9 号
2016(平成 28).6.17 (金) 発行

進路講演会（松田 修先生）

14日（火）3・4校時に山形大学松田修教授の講演会がありました。IND4.0（第4次産業革命）やAI（人口知能）時代に向けて、何を身につけ、どのように生きていけば良いのかを知る貴重な機会となりました。講演会の最後に、1年3組 K. H 君より講師の先生へお礼の挨拶が以下のようにありました。

本日はありがとうございました。内容が大変具体的かつ興味深く、楽しみながら今回の講義を聞かせていただきました。AIがより活躍してくるであろうこれからの時代に対して、今まで私は、機械が人類を支配する未来ばかりを想像していました。実際どうなるかは言ってしまう関係のない話ですが、先生の講義を聞く限りでは、ずいぶん人間にとって良い時代になるんだなと感じました。その時代についていくためには、高い語彙力も必要だと、そう思います。

私は最近、ハイペリオンという海外のSF小説を読み始めましたが、知らない語句の多さに、自分の語彙力の無さを思い知らされました。この小説を読み切り、自分の語彙を増やすことを1か月後の小目標とでも設定し、小達成させ、それを繰り返すようにして自分を成長させていけるようにします。

少々の外れな感想だったかもしれませんが、大変楽しい講義でした。will, can, must を意識して、日々が充実したものになるようにしていこうと思います。

1年3組 K. H

<講演会の感想から>

45000の語彙力をつけることは難しいことだけど、これから生きていくうえで重要だと思ったので、読書をする習慣をつけていきたいと思った。また、小目標の小達成を心がけていきたいと思う。今回の講演をお聞きして、一番感じたのは松田先生の視点の幅が広いことだ。物事をあらゆる面から論理的に考えることで、考えが深まり、考えることが楽しくなるのだと思う。だから、視点を意識して生活していきたい。（1組 N. M）

僕は未来について少し不安を抱いていたのですが、今回の話を聞いて考え方ががらっと変わりました。語彙力がとても大切だということがわかりました。また、小目標を立てて、小達成することにより、やる気につながっていくことを知ったので、これから小目標を立てて実践していきたいと思います。「すべての基本は熱意」という言葉が心に残ったので、この言葉通りの生活ができるようにしたいです。これからはあらゆる可能性を信じて頑張っていきたいと思います。（4組 Y. K）

今回の講演会でも話を聞いて、これから劇的に移り変わる時代で、どのように、どのようなことをすべきか考えていかなければいけないと思いました。私が印象に残ったのは未来の家についてです。家から1歩も出なくても人と会えたり、海外に行くことができるのは、画期的だと思いました。2040年になったとき、全人類の頭脳を超えられる一台のコンピュータを想像するのは難しいですが、私は将来の仕事では、そんな人工知能に負けないような職につきたいと思いました。小目標を立て、達成することの繰り返し、今日から実践していきます。（3組 Y. N）

日常の色々なものをいつもとは違った視点で考えることができ、とても楽しかった。語彙力を上げるために本を読んだりするなど、LINEに固執してはいけないということが分かった。また、小目標を立て、達成できたら自分を褒めてあげるようにしたい。そして、スマホを使う時間を考えて生活していきたいと思う。思い込みにとらわれず、世の中にあふれているものからどれが正しいかを判断していきたいと思った。（5組 H. Y）

今日の進路講演会で、AI、これからの生活の変化、やっておきたいことなどを知ることができました。語彙力を鍛えることがどれだけ重要なのかやAIの時代を恐れないこと、まずは小さな目標を立てて、それを達成し、また目標を立てて・・・という繰り返しを行うことが大切だということがわかりました。今ある職業の65%が将来失われることに驚きました。これからは、語彙力を鍛えるために小説をたくさん読んだり、人間独自在持つコミュニケーション能力を養うために、なるべく人と話などをして良い関係を保てるように頑張っていきたいです。（5組 A. T）

今ある職業のほとんどが将来無くなっていることは知っていましたが、私はそれに対して不安しか抱いていませんでした。しかし、今日の講演をお聞きして、逆にどう AI を活用していくか、新しい職業にどう順応していけるかが楽しみになりました。また、小目標の大切さを学んだので、どんな小さなことでもいから目標を立て、達成に向けてコツコツと頑張っていきたいと思いました。自分のために熱意をもって、日々精進していこうと思います。(4組 S. T)

今日の講演会を聴いて、一番印象に残ったのは「熱意が大切だ」という言葉でした。その熱意(やる気)を出すためにはまず、小目標を設定し、小達成を繰り返してドーパミンを出すことが大切だということが分かったので、これからは小目標を自分で設定し、小達成を繰り返していきたいと思いました。また、語彙力を上げることが大切だということが分かったので、本をたくさん読んで、これからの自分の語彙力を伸ばしていきたいと思いました。英語は訓練するものだと思って、これから一生懸命勉強していきたいです。(2組 O. K)

とても内容が濃く、かつ具体的で、終始わくわく楽しみながら聞いていた。今後なくなる危険性が高い仕事とか残る仕事とかがすごく気になっていたので、大まかだけど知ることができて良かった。2030年の暮らしの動画を見て、とても驚いた!! ドラマや本などのノンフィクションではよく見ていたけれど、山人の人達が動画を制作したというのを聞いて、現実でも起こるんだなと実感した。一番影響を受けたのは「小目標を立て、小達成を繰り返し、達成したら褒めること」です。「脳は報酬系であり、金や物よりも上の人から褒められるのが一番」と聞いて、確かにと納得しました。

小目標：小説を一冊読み終える！ (4組 H. M)

松田先生のお話は自分でも楽しく、自分の記憶しやすい形で理解することができました。話の一つ一つが興味深く、自分にも十分関連する話をたくさんしていただき、本当に面白かったです。IND4.0 や IoT や AI など、これからの社会に関係するお話は特に面白かったです。その中でも AI に関するお話が一番興味深くて、2020年にはAIが人間一人の脳を超え、2045年には全人類の脳を超えるというグラフにはとても驚きました。正直怖いという感想もありますが、先生のお話を聞くと「それが面白い、楽しい」と感じる事が大切なんだとわかりました。must,will,can に重なる小目標を小達成し、やる気をつけることと朝食をきちんととることがとても大切だと、この2時間でよくわかりました。(5組 K. S)

AIが世界を支配するという説を以前耳にしたとき、人間の立場の保守ばかり考えていました。しかし、松田修先生のご講話を拝聴すると、わくわくして胸の高鳴りが止まらない自分がここにいました。これからの時代、AIとの分担をして住みやすい社会にしたい、そう思いました。世界を変えるには力が必要です。そのために、今回教えていただいた「小目標」の達成をします。興譲館の漢文音読が、今の私の小目標です。語彙力の養成と共に、一つの文章を読むごとに先生のサインをもらう。これこそ小目標の達成にぴったりだと思えます。(2組 T. A)

すごく刺激的な講義だった。教科書がすべてではないので、日々の生活からリベラルアーツを少しずつ増やしていきたいと思った。AIの社会について、今までは不安ばかりが募っていましたが、先生のお話を聞いて“面白い未来”ととらえて、これからの社会を楽しみにしたいなと思う。また、AIにも欠点がたくさんあるとは思っていなかったの、様々な欠点の話を聞いてとても驚いた。その欠点をカバーするために必要とされるクリエイティブ系、コミュニケーション系の職業がどう変わっていくか、とても楽しみだ。小目標、小達成のサイクルをつくり、トリプトファンをたくさんとれる朝食を食べたい。(2組 E. R)

今回の講義を受けて、たくさんの興味深く、初めて知る話を聞くことができた。1つ目は、これからAIの時代になっていくということだ。これから67%が人工知能関連になるということに驚いた。先生がおっしゃっていたように積極的にAIを活用し、これからの時代を生きていきたいと思う。また、小目標を持つことの大切さを知った。自分の小目標をしっかりと設定し、will×can×mustを意識して生活していきたいと思う。自分はまだまだ語彙力が足りないの、力をつけて朝食もしっかりとって、熱意を持って生きていきたい。(1組 K. S)

今回の講演会の中で自分が一番大切だと思ったことは“小目標を立てること”です。自分は今まで大きな目標ばかり立てていて、途中で投げ出してしまいそうになります。しかし、今回の話から、小目標の積み重ねがやる気につながる事が分かったので、どんな小さな目標でも立てていこうと思いました。また、やる気を出すためには、「小目標」の「小達成」、体温を上げる、そして1番大切なのは“朝食”を食べることだとわかりました。毎日しっかり朝食をとっていこうと思います。

“私には小目標を持ち、小達成する力があります。” (3組 H. M)

「実際に行ってみないと分からない」、「世の中のほとんどがガセネタ」など、自分の知識に頼って生活していけないのだと思いました。今後、人間だけではなく、人工知能が発達していくことで、不安なこともあります。いかに前向きに考え活用していくのが重要だと考えられるようになりました。目的のために小目標を立てるにも、will,can,mustを意識しなければ意味がなく、小達成をしなければ、それも意味がありません。日常の四点固定を定着させるための小目標・小達成を実行していきたいと思えます。(1組 K. S)

<保護者の方へ>

今週のHRで、1学期中間考査の通知表を配付しています。ご覧になった後、学校への提出は不要ですので、お手元に置いていただき間もなく始まる1学期末考査に向けてご家庭でのアドバイスなどお願いいたします。